

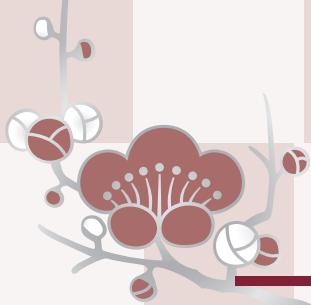


2019
1
No.172

常陸大宮駅前
シャッターアートプロジェクト
(関連記事 P12)

主な内容

- | | |
|-------|------------|
| P2 | 新年のあいさつ |
| P3 | 十大ニュース結果 |
| P4～5 | 香川敬三シンポジウム |
| P6～7 | イノシシ被害防止対策 |
| P8～13 | まちのできごと |



新年のご挨拶



常陸大宮市長
三次 真一郎

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことに心からお慶び申し上げます。本市は、今年10月に市制施行15周年を迎えます。また、本県では昭和49年以来45年ぶりとなります「いきいき茨城ゆめ国体」が開催されます。本市では、なぎなた競技が9月29日から10月1日までの3日間、西部総合公園体育館を会場に実施されます。開催まで10か月足らずとなりましたが、万全の準備と心からのおもてなしをもって、素晴らしい大会としたいと考えます。市民の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、自然災害級と言われたほどの猛暑や6月の大阪府北部地震、7月の西日本を中心とした豪雨災害、9月の北海道胆振東部地震など、大きな自然災害が発生し多くの方が被災され、あらためて安全・安心な市民生活が送れることの大切さを痛感した年でありました。

本市では、いち早く市内小中学校全普通教室への空調設備設置を決断し、設置に向けた作業を着実に進めているところです。今年からは、新学校給食センターの建設事業を進めるなど、次の時代を担う子供たちのため、更なる教育環境の充実と安全を図るとともに、子育て支援につきましても、昨年10月に設置した「子育て世代包括支援センター」を中心に、安心して妊娠・出産・子育てのできる環境整備を引き続き進めてまいります。このほかにも、誰もが安心して豊かに暮らせる地域社会を築いていくため、防災・減災対策の充実強化をはじめ、安全安心な地域医療体制の確立、地域住民の日常生活に不可欠な生活交通を安定的に維持するための地域公共交通体系の確立、老朽化した道路・橋梁・上下水道などインフラ資産の計画的で効率的な維持保全・更新などを着実に進めていかなければなりません。急速に進む人口減少と少子高齢化に適切に対応し、地域の活力を維持・発展させながら、市総合計画を基本に20年後、30年後を見据えたまちづくりを市民の皆様とともに着実に進めてまいります。

結びに、平成から新しい元号に変わる今年、市民の皆様方のお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸、そして実り多き輝かしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



常陸大宮市議会議長
淀川 茂樹

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、平成31年の新春を健やかに迎えのことに、お慶び申し上げます。昨年8月に議長に就任し、早くも4か月が過ぎました。常に時代に対応した地方分権を先導する議会を目指して、一層の議会改革に取り組むとともに、より開かれ、信頼される議会を構築してまいりたいと、あらためて決意しております。

昨年一年を振り返りますと、羽生結弦選手の2大会連覇で話題となりました平昌オリンピックでの日本選手団の活躍や、本庶佑医学博士のノーベル医学生理学賞の受賞などがありました反面、西日本が記録的な豪雨に襲われた平成30年7月豪雨や数々の台風の襲来、また、大阪や北海道での地震など、多くの自然災害が発生した年でもあり、改めて災害への備えの大切さを実感した一年でありました。

さて、本市では、今年が市制施行15周年の節目の年であり、第74回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体開催の年でもあることから、市民でともに祝い、一体となって取り組むことで、更なる一体感が生まれることを願っております。行政に目を向ければ、地方分権の進展により、市が果たす役割は一層重要になっております。常陸大宮市においては、人口減少・少子高齢化への対応、地域公共交通網の整備、産業の振興、中山間地域や中心市街地の活性化などの課題が山積しております。

このような課題を抱える中、議会が果たすべき役割及び責務の重要性が、益々増大しておりますことから、特に、人口減少や少子高齢化への対応を喫緊の課題ととらえ、昨年12月の定例会におきまして、対策に向けた特別委員会を設置したところであります。市民の代表である市議会といたしましては、執行機関と連携を図り、互いに切磋琢磨しながら、二元代表制の一翼を担うべく一丸となり、市政発展のため、そして、市民の皆様が、住んでよかったと思えるまちづくりの実現に向けて、鋭意努力してまいりたいと考えております。

結びに、本年が皆様にとりまして、実りある飛躍の年となりますよう、心からご祈念いたしますとともに、今後も一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年の挨拶といたします。

常陸大宮市2018年十大ニュース

2018年の本市の十大ニュースを市職員から募集し、100人から622件が集まりました。

※毎年行われる行事は除き、市域内の出来事を対象としています。

第1位

いきいき茨城ゆめ国体2019
なぎなた競技リハーサル大会開催



第2位

パラオ共和国選手団
事前キャンプ実施



第3位

本市出身生田目翼選手 北海道日本ハム
ファイターズからドラフト3位指名・入団



第4位

第2回全国高校生花いけバトル
小瀬高校生が関東大会で優勝し全国大会出場



第5位

名誉市民
故矢数浩様市葬



第6位

子育て世代包括支援センター
「ぬくもり」開設



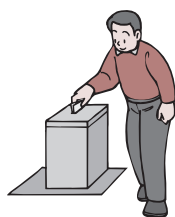
第7位

パラオ共和国研修生
送別セレモニー、帰国



第8位

市議会議員選挙
(定数20から18へ新体制)



第9位

雪村顕彰会発足
シンポジウム開催



第10位

国道118号
那珂・大宮バイパスの一部開通





明治150年記念シンポジウム

かがわ けいぞう

香川敬三を知る ～幕末の激動から明治の宮中へ～

平成30年（2018）は明治元年（1868）から満150年の節目の年となりました。これを記念して、市では昨年12月15日に、市文化センター小ホールで明治150年記念シンポジウムを開催しました。

本市下伊勢畑出身で明治期に活躍し、後に伯爵の爵位を与えられた「香川敬三」という人物にスポットを当て、敬三の研究家である皇學館大学文学部の上野秀治特別教授並びに県立歴史館史料学芸部の石井裕主任研究員による講演を行いました。

上野先生の基調講演「香川敬三の足跡をたどる」では、特に幕末から明治・大正にかけての時代の動

きを時系列にたどっていき、宮内省における活躍ぶりだけでなく、本人が出世していく様子や当時の状況について講演していただきました。

続く石井先生の講演「香川敬三と茨城の近代」では、敬三と周囲の人々との関係を通じて、水戸藩や水戸藩士への思いのほか、地元伊勢畑との関わりについてご講演いただきました。

今回のシンポジウムをきっかけに、これまでほとんど知られていなかった香川敬三について、今後継続的に調査研究を実施していく予定です。



▲上野特別教授



▲石井主任研究員



▲ロビー展示の様子



▲多くの方にご来場いただきました

◇香川敬三の生涯

香川敬三(1839—1915)は、当時の下伊勢畑村の庄屋蓮田孝定^{たかさだ}の三男・了介^{りょうけ}として生まれ、同村の神官鯉沼家の養子となり、伊織と称しました(「伊織」は鯉沼家の数代で使用されています)。実兄の蓮田東三^{とうぞう}とともに水戸^{とうこ}に出て藤田東湖の門



▲香川敬三肖像(個人蔵)

人となり、門閥派と改革派が対立する藩内で尊王攘夷運動を展開します。文久3年(1863)藩主に従って上京すると脱藩し、隠棲中の岩倉具視の知遇を得ます。この頃、小林彦次郎という変名を使用し、さらに香川敬三と名乗るようになります。

その後は討幕活動に身を投じ、戊辰戦争では、具視の子具定が務める東山道鎮撫総督(幕府軍討伐のため臨時に置かれた征討官で東海道・東山道・北陸道に置かれた)の補佐として軍監に任命されています。明治3年(1870)に宮内省に採用され、翌年秋には岩倉使節団に随行李欧米を視察しています。明治14年に皇后宮大夫(皇后宮職の長官、皇后の側近)となり明治天皇妃の美子皇后(のちの昭憲皇太后)に近侍しました。この間、明治40年(1907)に伯爵の爵位を与えられ、死去する大正4年(1915)3月18日に従一位となりました。水戸藩出身者では異例の栄進を遂げた人物ですが、それにとどまらず、近代国家における皇后を長年にわたり支え、一方で故郷の学校や道路整備のための資金拠出、旧水戸藩士の顕彰や資金援助など、その功績は、激動の時代を生き抜いた生涯とともに改めて記憶されるべきものです。

◇香川敬三に関する史料

香川敬三に関する古文書史料は、学習院大学が所蔵する2万5千点の史料群が最大のものです(もとは皇學館大学所蔵、昨年8月に学習院大学へ移管)、これは敬三が初代となった香川家が所蔵していたものです。明治期の政府要人の史料群としては国内有数の規模といえます。このうちの約1万5千点を書簡が占めます。

一方、市内では現在までに、敬三、娘の志保子、2番目の妻須磨子の書簡24通と和歌4首が確認されています。敬三は幕末に上京して勤王の志士たちと親しく交わるようになり、維新後、宮内省に採用されると専ら東京にいて、故郷に帰る機会ほとんど

なかったようです。そのため残念ながらそれほど多くの史料が当地に残されているわけではありません。

敬三が地元であまり知られていないのも、そのような理由のためかも知れません。



▲香川敬三の手紙(市文書館蔵)

◇故郷への思い

敬三は故郷に、道路改良や学校整備、村内金融の基金となる寄付金を明治初期から数度にわたり行っています。「香川金」と名付けられた基金は、生活扶助や起業のための資金として貸し付けられ、活用されました。また、鯉沼家が所蔵する香川敬三書簡は、敬三の故郷に寄せる思いが分かるものとして注目されます。

最初の妻鯉沼竹子との間の一人娘・志保子は女官として宮内省に採用され、23歳から2年間英国に留学して語学を習得、明治天皇の皇后に通訳として仕えました。志保子と蓮田哲太郎の縁談について記された書簡(年代不明・鯉沼家文書7)には、縁談が不調に終わっても鯉沼・蓮田の両家の関係が悪化しないよう配慮するとともに、本来当主となるべき自分が鯉沼家を出て宮内省に勤務している現状や、娘の志保子まで東京に引出し、女官勤めをしていて故郷に帰らせることができない状況について、「不敵の所業」「多罪免れ難く」として養家鯉沼家への謝罪の気持ちを述べています。新政府での栄達の一方で、若くして離れた故郷へ寄せる思いを吐露したものとして注目されます。

【参考文献】皇學館大学史料編纂所編『香川敬三履歴史料』平成4年、同編『図録・香川敬三関係史料の世界』皇學館大学出版部 平成24年

〈文書館エントランス展示〉

香川敬三の手紙 2月3日(日)まで

※月曜・祝日・年末年始休館

イノシシ被害

市では、イノシシによる農作物等への被害を軽減するとともに、市民が安心して生活できる環境の保全を図るため、様々な被害防止対策を行っています。その内容について紹介します。

有害鳥獣捕獲隊によるイノシシ捕獲活動 !!

市では、有害鳥獣捕獲隊を結成し、有害鳥獣捕獲期間にイノシシの捕獲活動を実施しました。捕獲隊による粘り強い捕獲活動により、平成30年度は431頭のイノシシが捕獲され、平成29年度の293頭と比べると捕獲頭数が大幅に増えています。

イノシシ捕獲頭数について

		大宮地域	山方地域	美和地域	緒川地域	御前山地域	合計
平成29年度	有害鳥獣捕獲期間 (4/16～10/31)	33	69	85	39	67	293
	狩猟期間 (11/15～3/31)	84	190	143	97	94	608
	年間合計	117	259	228	136	161	901
平成30年度	有害鳥獣捕獲期間 (4/15～11/14)	143	92	84	50	62	431
	狩猟期間 (11/15～3/31)	狩猟期間中					
	年間合計	143	92	84	50	62	431

※有害鳥獣捕獲期間・・・市が有害鳥獣捕獲活動を委託した捕獲隊（48人）が活動する期間。

※狩猟期間・・・狩猟免許取得者で茨城県狩猟者登録した方が狩猟を行える期間。

有害鳥獣捕獲隊役員会の開催

有害鳥獣捕獲隊役員会を今年度3回開催しました。この役員会では、市内の被害防止対策について協議を行っています。



▲役員会の様子

11/26 イノシシ捕獲用箱わな寄贈

常陸農業協同組合より、市へ箱わなが寄贈され、野上会長から三次市長に目録が手渡されました。

今回寄付された箱わなは3基で、農作物等の被害軽減等に活用してほしいと寄贈されたものです。



▲(中央) 野上会長、(右) 坪井常務

防止対策について

イノシシ被害対策の補助事業等について

●有害鳥獣被害防止対策設備購入補助金

【電気牧柵等の資材購入費補助】

- 交付対象となる方(次の要件すべてに当てはまる方)
 - (1) 市内で、有害鳥獣による被害をうけるおそれのある農地を所有または耕作する方
 - (2) 市内に住所を有する方
 - (3) 市税等の滞納がない方
- 補助金の額等について
資材購入費用の1/2以内とし、上限30,000円(団体の場合は、団体の構成員数に35,000円を乗じ得た額)を補助します。

●イノシシ被害防止対策助成金

【狩猟期間中(11/15～3/31)イノシシ捕獲に伴う助成】

- 交付対象となる方(次の要件すべてに当てはまる方)
 - (1) 市内に住所を有する方
 - (2) 市税等の滞納がない方
- 助成金の額等について
- 【市内で捕獲された成獣のイノシシ(1頭あたり)】
 - (1) 体重60kg未満10,000円
 - (2) 体重60kg以上15,000円(重さが確認できる写真又は書類が必要)

※狩猟期間にイノシシを捕獲するには、狩猟免許と茨城県狩猟者登録が必要になります。

●狩猟免許取得助成金

【狩猟免許取得等に要する経費の助成】

- 交付対象となる方(次の要件すべてに当てはまる方)
 - (1) 第1種銃猟免許またはわな猟免許を新たに取得した方
 - (2) 市内に住所を有する方
 - (3) 市税等の滞納がない方
- 助成金の額等について
狩猟免許取得等に要する経費とし、助成金額は次のとおりです。
 - (1) 第1種銃猟免許 25,000円
 - (2) わな猟免許 5,000円

●イノシシ捕獲用箱わな貸出事業

【イノシシ捕獲用箱わな貸出】

- 貸出対象となる方(次の要件すべてに当てはまる方)
 - (1) 市内に住所を有する方
 - (2) わな猟免許を取得している方
 - (3) 申請年度において茨城県狩猟者登録している方
 - (4) 市税等の滞納がない方
- 貸出箱わなについて
高さ1m×幅1m×奥行2m(両開式・片開式)
- 貸出期間について
平成30年11月15日から平成31年3月31日まで



イノシシを目撃したり、 ばったり出会ってしまったら…

- イノシシの進行方向に近づかず、興奮させないように静かにイノシシから見えない場所へ避難しましょう。
- イノシシが威嚇している場合や、イノシシとの距離が十分でない場合には、イノシシの様子を見ながらゆっくりと後ずさりして離れましょう。
(背中を向けて走り出す、大声をあげるなどの行為は避けましょう。)
- 木の陰に身を隠す、石の上に乗るなどして、イノシシの直撃を避けましょう。

※各補助制度等の詳しい内容を聞きたい方、イノシシの被害にお困りの方については、農林振興課または各支所へご相談ください。

■問い合わせ■

農林振興課 ☎52-1111 (内線206)
山方支所 ☎57-2121
美和支所 ☎58-2111
緒川支所 ☎56-2111
御前山支所 ☎55-2111

平成30年第4回常陸大宮市議会定例会が開会されました。この定例会では、次の議案（市長提出議案）の審議が行われ、それぞれ可決及び同意されました。

条 例

- ・常陸大宮市空家等対策の推進に関する条例
- ・下水道事業の地方公営企業法適用に伴う関係条例の整備に関する条例
- ・常陸大宮市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・常陸大宮市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・常陸大宮市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ・常陸大宮市美和農産物直売所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例
- ・常陸大宮市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

平成30年度補正予算

- ・常陸大宮市一般会計補正予算・特別会計（4会計）補正予算
- ・指定管理者の指定について
道の駅常陸大宮
- ・教育長の任命について
茅根 正憲さん

教育長に茅根氏

上久保洋一氏が12月24日付けで市教育長を退任され、茅根正憲氏（中富町在住）が12月25日付けで市教育長に就任されました。

退任あいさつ

上久保洋一



教育委員会での勤務が9年半となり一番長い勤務となりました。振り返ってみますと、学校統合、東日本大震災からの復旧、校舎の耐震化に終始した9年半だったと思います。その学校統合や耐震化も今年度で完了になります。学校教育では、教員の人材育成に力を注いでまいりました。教諭では一人の療養休暇者もなく、子どもたちの教育にあたって頂いています。これは県内44市町村でも稀有なことであると評されているところです。学習や運動の分野では、過去の栄光を取り戻すことができるよう激励し、部活動では、毎年関東大会に出場するなどかつての栄光を取り戻しつつあります。また、社会教育では、国体の準備や文化の面で一步進めることができたと思います。これまで、市民の皆さんのご協力やご尽力のお陰で多くの事業を推進することができました。謹んで厚くお礼申し上げます。

就任あいさつ

茅根 正憲



このたびの教育長拝命につきましては、地方教育行政法において、教育行政の責任体制が明確化された中、その責務を十分に感じているところです。そして、気持ちも新たに、本市の定められた教育大綱を基本として、行政・学校・地域などの連携を図りながら、教育の推進に努めてまいり所存でございます。

本市は、合併して15年を迎えるところですが、これまで、本市の教育推進については、「郷育立市」を掲げまして、教育振興基本計画を策定し、各種事業の展開を図ってこられました。今後も事業を推進する上で課題等があるかと思いますが、学校教育、社会教育、そして文化・スポーツそれぞれの分野で「郷育立市」を理念とした教育振興ができますよう、これまでの経験を活かして、全力を尽くしてまいります。皆様のご協力・ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

11/15 市スポーツ推進委員表彰

市スポーツ推進委員の相田仁史さんが、第59回全国スポーツ推進委員研究協議会鹿児島大会で30年勤続の表彰を受けました。相田さんは平成元年に山方町体育指導委員に就任して以来、市のスポーツ振興に貢献されてきました。



▲おめでとうございます

12/6 生田目翼選手が表敬訪問

今季のドラフト会議で北海道日本ハムファイターズから第3位で指名を受け、入団契約をした本市出身の生田目翼選手が三次市長を表敬訪問しました。生田目選手は本市から初のプロ野球選手になります。「1年をとおして1軍で投げられるように頑張りたい」と意気込みを語りました。



▲頑張ってください！

11/27 市認証特産品「常陸大宮さん(産)」新たに2品目が追加

市特産品「常陸大宮さん(産)」認証制度では、今年度新たに2品目の追加認証を決定し、合計48品目となりました。常陸大宮市農産物等地域ブランド認定制度・6次産業化推進協議会で認証適否の審査を実施し決定・発表しました。

《本年度認証品》

ほりえ農園の紅はるか

ほりえ農園（小舟地区）が自家栽培したさつまいも「紅はるか」を厚さ9mm以上のカットにこだわり、肉厚なまま乾燥させることで、ねっとり凝縮した甘さに仕上げた干しいもです。丸干しはもちろん平干しも大満足の食べごたえです。



▲とてもおいしそうです

奥久慈桜

JA常陸大宮地区枝物部会の奥久慈の花桃に続く、奥久慈ブランドの枝物第2弾。年内咲きの桜として、正月用花材として多く使われています。枝物部会では使う人のニーズに合わせて出荷調整をしているため、市場から高い評価を得ています。



▲可憐な奥久慈桜

お詫びと訂正

広報常陸大宮12月号まちのできごとで、かやぶき古民家のミニチュア制作は実物の3分の1の大きさ但实际上は30分の1でした。お詫びして訂正します。

11/11・12

小場城跡保存隊

小場地域の「小場城跡保存隊」(寺門一夫隊長) 34人が友好都市協定を結んでいる秋田県大館市で研修視察を行いました。小場城跡保存隊は小場城跡を保存しようと3年前に地域住民で結成し、年に7回の草刈りや落葉の清掃などを行っています。

「小場氏ゆかりの地」として大館八幡神社・部垂八幡神社・遍照院・一心院・宗福寺等を見学し、改めて歴史的つながりを感じました。小場城は大館城代となった小場氏の出身地であり、江戸時代にも大館から前小屋氏等が訪れるなど、歴史的つながりを持っています。寺門隊長は今後とも城跡の保存に努め、大館との交流を深めていきたいと語りました。



▲小場城跡保存隊の皆さん

11/4・11

発達障害 について知ろう

発達障害のことをもっと知ろう講座(主催:社会福祉協議会、茨城県水戸生涯学習センター、後援:教育委員会)が開催されました。2日間で延べ150人以上の方が受講され、発達障害のある人への支援について学びました。本市には、障がい者に関する相談機関として、障害者基幹相談支援センターが設置されています。

■問い合わせ■

障害者基幹相談支援センター ☎58 - 5015



▲皆さん熱心に受講していました

11/24

雪村ウォーク

室町時代の水墨画の巨匠・雪村の生誕地を巡る「雪村ウォーク」(主催:雪村顕彰会)に、県内各地から会員や市民等約60人が参加、約8.5kmを歩き雪村に思いをはせました。参加者は農村環境改善センターで富山会長の「雪村ミニ講座」を受講して出発。下村田の「観音様」と呼ばれる祠前では、富山会長が「このあたりが福聚寺跡、雪村屋敷跡と推測」と解説。「雪村筆洗いの池」での記念撮影後、訪れた「誕生寺」(上岩瀬)では、同寺に伝わる福聚寺の「過去帳」を示しての永徳住職の解説に、参加者は身を乗り出して聞き入っていました。



▲「観音様」で富山会長の解説を聞く参加者

11/24

ホタル保全活動

市温泉施設「すこやかランド・三太の湯」前を流れる深^{ふか}川で、ホタル等の保護活動が行われました。この付近には以前、多くのホタルやカジカガエルが生息していたそうですが、最近はその数も減少しており土砂の堆積も影響していると考えられることから、今回の土砂^{しゅんせつ}浚渫箇所から下流にかけて生息しているホタル及びその餌となるカワニナの保護活動を行ったものです。当日は、山方地域の魅力ある地域づくりを考えるなかまの会(小林昭会長)の会員のほか、地域おこし協力隊員の松原隊員や市職員が参加しました。ホタルの幼虫やカワニナ約700匹を採取して、上流の川へ移動放流しました。



▲参加した皆さん

11/27

市災害対策本部設置及び運営訓練

警察、自衛隊から9人の参加をいただき、市職員を含め約50人で平成30年度市災害対策本部訓練を本庁舎会議室で実施しました。昨今、南海トラフ巨大地震等の予測や温暖化による異常気象が懸念されていますが、昨年7月の西日本豪雨災害や9月の北海道胆振東部地震災害が発生し、本市でも大規模な災害が発生した場合の迅速かつ確実な対応が求められます。そのような場合に備えて訓練を実施して、市関係職員が災害対策本部の具体的な活動要領を疑似体験するとともに、災害時の危機対応能力を高めることを目的としました。



▲情報収集に努めます

訓練は、台風が接近している中、訓練当日朝に大規模な土砂災害が市内の各地域に発生したという想定で、午前9時に災害対策本部を設置し、警察・自衛隊と連携しながら、情報の収集・整理から応急対策の検討をしました。午前10時から災害対策本部会議を開催し、本部長（市長）に被災状況等を報告して、本部長が災害対策の重視事項を指示するまでを訓練として実施しました。訓練終了後、検討会を実施し訓練参加者から活発な意見が出されました。今後の市の防災体制等に反映させるとともに、継続的に訓練を実施することの必要性を感じた訓練でした。



▲災害対策本部会議の様子

11/27

応急復旧に関する協定を締結

大規模災害時の被害拡大防止及び応急的な復旧を目的として常陸大宮市建設業協会及び常陸大宮市北西部建設業組合とそれぞれ「災害時における応急復旧に関する協定」を締結しました。この協定締結により、地震、風水害等により道路、橋梁等の施設が被災した場合や障害物の除去に市からの要請に応じ早期応急対策並びに応急復旧が円滑に行われ、生活の早期安定が図られることとなります。今後も更なる防災対策の充実と市民の安心・安全の確保に努めていきます。



▲左から森嶋会長、三次市長、桑名会長

12/1

きらきらステーション

きらきらステーション～サンタの里からプレゼント～点灯式が開催されました。

J R水郡線山方宿駅から神奉地児童公園までをイルミネーションで飾り、夕暮れの中でのイルミネーション点灯時には、多くの人々が幻想的な光に包まれました。式典後に行われたミニライブでは、多くの観客がたくさんの拍手を送っていました。イルミネーションは、2月28日まで点灯していますので、ぜひご覧ください。



▲山方中学校吹奏楽部の演奏

12/1

駅前シャッターアートプロジェクト

市内で活動するあきない組と市内在住の画家、寺門由紀さん、地元小学生による常陸大宮駅前シャッターアート第一弾が完成しました。これはシャッターが下りたまの店舗が増え、寂しくなっていく旧道沿いを明るくするため、シャッターに絵を描き、華やかさと地域を活性化する目的で行われました。今後、この活動を広げていく予定だそうです。



▲左からハートが愛・ぬくもり・いとおしさ、星は光・輝き・希望、水は自然・川・うるおい、緑（四つ葉）は、緑・自然・芽生え、というコンセプトだそうです

12/2

かがやきまつり

第13回かがやきまつりが市総合保健福祉センター「かがやき」で開催されました。

保健衛生功労者表彰式典では、地区（域）健康づくり推進協議会連絡会の委員として、市民の健康づくりの推進、啓発活動を積極的に取り組んだとして、上久保良三さん、佐藤晃さん、阿久津勝之さん、川澄多喜男さん、木村利男さん、鈴木清さん、関博司さん、石澤好文さんが表彰されました。



▲受賞された皆さん

12/2

ひたまる先生会ワークショップ

ひたまる先生会ワークショップが山方農林漁家高齢者センターで開催されました。

ひたまる先生会とは、自らの経験により培った知識や技術など豊富な企画力を持った方を「ひたまる先生」として登録し、あらゆる分野で活躍できる人材（市民）の育成と、市民一人ひとりの力を活かした地域社会づくり（まちづくり）に貢献することを目的として日々活動しています。

今回も多くひたまる先生が様々な体験講座を行い、幅広い年齢層のたくさんの方でにぎわいました。参加者からは、「とても楽しかった」、「また参加

したい」との声頂きました。

参加者と先生の交流のほか、先生同士が交流する姿も見られ、つながりを大事にした、温かいイベントとなりました。ひたまる先生会では、市民の皆さんから講座開講の希望を随時受け付けています。また、ひたまる先生になってくださる方の募集も行っています。市ホームページに詳細がありますが、事務局へもお気軽にお問い合わせください。

事務局 市民協働課 市民協働グループ

☎52-1111（内線126）



▲腹話術で楽しいひととき



▲民話カフェで民話を堪能しました

12/2

行政相談PR

行政相談委員が、かがやきまつりとショッピングセンターピサーロで、行政相談のPR活動を行いました。行政相談についてのチラシ配布や、市民の困りごとに耳を傾けるなど熱心に活動を行い、行政相談について理解を深めていただけました。行政相談とは、日々の生活の中での困りごとを、行政相談委員が身近な相談相手としてお聞きするものです。道路や側溝の補修などのご相談はもちろん、どこに相談していいかわからないという方もお気軽にご相談ください。



▲制度について丁寧に説明しました

12/9

和太鼓フェスティバル

平成30年度常陸大宮市文化祭「第5回和太鼓フェスティバル」が、常陸大宮市友好都市である秋田県大館市『大館曲げわっぱ太鼓』の皆さんを特別ゲストに招き、盛大に開催されました。

曲げわっぱ太鼓の躍動感ある勇壮な演奏は、観客を魅了しました。また、出演した市文化協会6団体と市内3保育園等の出演者の皆さんも日頃の練習の成果を発揮し、会場に迫力ある太鼓の音を響かせました。



▲文化協会合同太鼓

12/9

国際交流フェスティバル

第9回国際交流フェスティバル～小さな出会いが作る交流の輪～（主催：市国際交流協会）が緒川総合センターで多くの方の来場のもと盛会に開催されました。ステージ発表では、有難亭良慈緒（鹿原徳夫）さんの落語や、海外出身者によるジャマイカダンス、小瀬高校や常陸大宮高校の吹奏楽の演奏などが披露されました。また、ランチタイムには本市在住の海外技能実習生が作る本場のインドネシア料理が振舞われ、海外出身者と市民の交流を深めることができました。



▲みんなで記念撮影

12/6・11・14

永田茂衛門親子の功績を学ぶ

市内3校（大宮小・山方南小・大賀小）の小学4年生が、社会科の学習で歴史民俗資料館大宮館を訪れ、本市の偉人・永田茂衛門親子について学びました。水戸藩の三大江堰（辰ノ口江堰、岩崎江堰、小場江堰）を作った永田茂衛門親子らを長年研究されている野上平先生の授業のもと、親子の工夫や努力、そして当時使われた道具について学習しました。その後、辰ノ口堰や小祝の用水路を実際に見学し、当時の工夫が現在も活かされていることを知った児童たちは、大変驚くと同時に郷土の歴史について、さらに理解を深めた様子でした。



▲昔の人の知恵ってすごいね

緒川総合センターで「第14回青少年をたたえる市民のつどい」が開催され、善行青少年や青少年の健全育成に尽力された方などの表彰や、青少年の主張作文で優秀賞を受賞した児童・生徒の作文発表が行われました。また、アトラクションとして、明峰中学校吹奏楽部・御前山中学校吹奏楽部の合同演奏が披露されました。

【青少年の主張作文入賞者】

◎小学校の部

賞	氏 名	学 校 名	学年	題 名
優 秀 賞	佐藤 琉菜	大宮北小	6	自分らしく
	関澤 美昭	御前山小	6	目標をもって
	高木 兼心	大宮西小	6	自己判断
	吉川 桃華	美和小	6	災害について考えたこと
会長奨励賞	岡崎 萌菜	山方小	6	私にとって大切な人
	金子 大真	山方南小	6	スナッグゴルフ全国大会に出場して
	桑名 陽介	緒川小	6	「あたりまえ」の大切さ
	齋藤 望花	大宮小	6	友達を大切に
	鈴木 清	村田小	6	犯罪をなくそう
	田中 望花	上野小	6	優しい言葉
	羽石 仁奈	大賀小	6	これからの日本のために

◎中学校の部

賞	氏 名	学 校 名	学年	題 名
優 秀 賞	坂井 亮太※	山方中	3	父のように
	富山 明日香	第二中	3	あたり前じゃないという事を
会長奨励賞	安藤 貴斗	明峰中	2	いじめについて
	石川 美寿瑞	御前山中	3	御前山中学校の軌跡
	西野 麗愛	大宮中	2	感謝の気持ちを胸に

※山方中学校第3学年の坂井亮太さんは、平成30年度少年の主張茨城県大会で作文発表をされ、茨城県教育長賞を受賞されました。

◎高校の部

賞	氏 名	学 校 名	学年	題 名
会長奨励賞	生田 祐太郎	小瀬高	2	貴方の身近に

【善行青少年表彰者】

区 分	氏 名	
高校生（高校生会）	新井 良千佳	安藤 大智
	宇留野 智哉	小橋 奨生
	木村 悠人	鈴木 裕之
	矢代 菜樹捺	渡邊 香太
平成27年度から3年間市高校生会に所属し、高校生会の活動に意欲的に取り組んだ。他の会員と協力して、北海道ふれあいの船やお宝発見事業等の様々な行事に進んで参加し、ボランティア活動を行った。		
高校生（団体）	茨城県立小瀬高等学校野球部	野球部部員（18人、マネージャーを含む）は、下小瀬地区の幹線道路及び本校周辺道路のゴミを拾い続けている。この活動は、月1回（多い月が2回）ペースで行われ、過去5年以上にわたって継続している活動である。

【青少年健全育成表彰者】

支 部	氏 名	表 彰 内 容
上 野	小 又 雅 子 お また まさ こ	市青少年相談員として8年間活動し、街頭パトロールや学区内小・中学校の学校訪問等に積極的に参加し、青少年の健全育成に努めた。また、市民会議上野支部では、家庭部会に所属し、朝のあいさつ・声かけ運動に参加し児童の安全確保に努めた。さらに、市民会議広報委員会の委員として作文の審査や会報の発行に尽力した。
大 宮	粕 谷 静 子 かす や しず こ	平成18年より青少年育成常陸大宮市民会議大宮支部広報部会に6年間所属し広報誌「ひろば」発行に尽力するとともに、現在は家庭部会に所属し、「あいさつ・声かけ」運動等の活動の中心的役割を果たしている。青少年相談員としても10年以上青少年の非行防止活動に貢献をしており、現在も活動を継続している。
上 野	塩 幡 光 子 しお はた みつ こ	市青少年相談員として8年間活動し、街頭パトロール、夏祭り時のパトロールや学区内小・中学校の学校訪問等に積極的に参加し、青少年の健全育成に努めた。また、「あいさつ・声かけ」を行い安全確保に努めてきたほか、市民会議上野支部では、6年間家庭部会長として、中心的役割を果たしてきた。
大 宮	飛 田 尚 久 とび た なお ひさ	平成20年より市民会議大宮支部地域部会に6年間所属し、内2年間地域部会長を務め、会費徴収、クリーン作戦等に尽力され、現在は総務部会に所属し支部事業の活動全般にわたって、多大なる貢献をしている。また、10年以上子どもたちが安心・安全に登下校できるよう見守り、交通指導を行っている。

【青少年育成常陸大宮市民会議功労者】

支 部	氏 名	表 彰 内 容
大 宮	駒 田 つよし こま た つよし	平成24年より市民会議大宮支部長として、6年間地域・学校と連携を図り、子どもたちが心豊かでたくましく自立し、ふるさとに愛着を持って成長できるよう促してきた。平成27年度からは2年間市民会議副会長として、企画運営等で積極的に提案・助言を行い市民会議活動に尽力した。



▲ 受賞者のみなさん



▲ 青少年の主張作文を発表した児童と生徒



第 6 回常陸大宮市スポーツ少年団駅伝競走

開催日：平成30年11月23日（金）

主催：（一財）常陸大宮市体育協会・常陸大宮市スポーツ少年団本部・常陸大宮市陸上競技協会

会場：大宮運動公園（低学年1000m 高学年1600m）

参加チーム：低学年男子の部：26チーム 低学年女子の部：9チーム

高学年男子の部：30チーム 高学年女子の部：12チーム

低学年男子

順位	チーム名	タイム
1	瓜連サンダースA	23分08秒
2	城里ミニバスケットボールクラブA	23分15秒
3	常陸大宮市陸上競技スポーツ少年団A	23分29秒
4	大宮サッカースポーツ少年団A	24分03秒
5	久慈スポーツ少年団	24分30秒
6	大宮サッカースポーツ少年団C	24分46秒



▲瓜連サンダースA

低学年女子

順位	チーム名	タイム
1	常北MBC	23分17秒
2	常陸大宮市陸上競技スポーツ少年団D	23分22秒
3	常陸太田SUNSミニバス	24分30秒
4	常陸大宮市陸上競技スポーツ少年団E	24分47秒
5	小瀬スポーツ少年団バレーA	26分15秒
6	小瀬スポーツ少年団バレーB	26分45秒



▲常北MBC

高学年男子

順位	チーム名	タイム
1	日立陸上クラブ	30分06秒
2	常陸大宮市陸上競技スポーツ少年団A	30分40秒
3	瓜連サンダースA	31分44秒
4	御城館	32分24秒
5	久慈スポーツ少年団	33分17秒
6	美和スタッピースポーツ少年団A	33分39秒



▲日立陸上クラブ

高学年女子

順位	チーム名	タイム
1	日立陸上クラブ	30分54秒
2	常北MBC	31分55秒
3	桂ミニバスケットボールスポーツ少年団	32分26秒
4	常陸太田SUNSミニバス	33分26秒
5	常陸大宮フェアリーズA	33分27秒
6	常陸大宮市陸上競技スポーツ少年団C	35分05秒

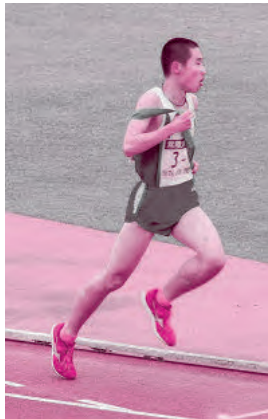


▲日立陸上クラブ

茨城県民駅伝競走大会

12月8日、ひたちなか市の笠松運動公園で第35回茨城県民駅伝競走大会が開催されました。市町村対抗の部（1人3kmで7区間）へ出場した常陸大宮チームは、23チーム中11位で入賞は逃しましたが、タイムは1時間13分56秒で昨年に比べ約3分向上しました。中学生・高校生・大学生・一般選手一丸となって走り切りました。

区間	第1区	第2区	第3区	第4区	第5区	第6区	第7区
選手	小松裕大朗	小泉 萌子	菊池 冬馬	大津 若菜	石井 一成	木村 世奈	岡崎 竜也



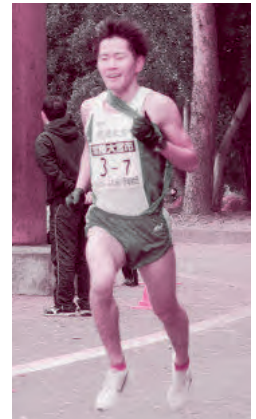
▲1区4位の快走を見せた小松裕大朗選手



▲5区2位の快走を見せた石井一成選手



▲木村世奈選手
職域対抗の部にも出場し、職域・クラブ対抗の部で女子の最高記録者となる女性優秀賞を受賞



▲7区5位の快走を見せた岡崎竜也選手



▲常陸大宮チーム

<そのほか本市から出場した駅伝チーム>

職域の部（1人3kmで5区間）

常陸大宮消防Aチーム 17位：57分17秒

常陸大宮消防Bチーム 28位：1時間2分48秒

クラブ対抗の部（1人3kmで5区間）

大場体協 14位：57分30秒

世喜体協 17位：58分2秒

村石体協 27位：1時間2分1秒



▲みんなと一緒に楽しんだよ！

ひたまるがゆく

12月8日（土）に市文化センターロゼホールで行われた、ももいろクローバーZジャパンツアー「青春」の千秋楽公演に参戦したひたまる。会場は9時からオープンし、道の駅常陸大宮～かわプラザ～やコミュニティカフェパンホフ、WonderGOO常陸大宮店による物販が行われました。ひたまるは、ファンの皆さんやももクロの皆さんと記念撮影などを行い、市のPRを行いました！全国のももクロファンと交流し、さらにももクロの大ファンとなったひたまるでした。

常陸大宮市長杯第3回東日本少年剣道錬成大会

開催日：平成30年11月18日（日）
主催：常陸大宮市長杯東日本少年剣道錬成大会実行委員会・（一財）常陸大宮市体育協会・常陸大宮市剣道連盟・茨城新聞社
会場：西部総合公園体育館
参加チーム：小学生低学年の部：95チーム
小学生の部：81チーム
中学生女子の部：64チーム
中学生の部：94チーム

小学生低学年の部

優勝	芳明館（茨城県）
準優勝	高神剣道教室（千葉県）
第3位	（一財）勝田若葉会（茨城県） 千葉南武館（千葉県）

小学生の部

優勝	芳明館（茨城県）
準優勝	錬武館（栃木県）
第3位	（一財）勝田若葉会（茨城県） 千葉南武館（千葉県）

中学生女子の部

優勝	錬武館（栃木県）
準優勝	結城尚武館（茨城県）
第3位	逆井中学校（千葉県） 長狭剣友会（千葉県）

中学生の部

優勝	錬武館（栃木県）
準優勝	養浩館道場（神奈川県）
第3位	いばらき少年剣友会（茨城県） 下館中学校（茨城県）

第14回常陸大宮市ベテランテニス大会

開催日：平成30年11月23日（金）
主催：市テニス連盟（片野良平会長）
会場：西部総合公園テニスコート

【男子】優勝	西野 好彦・松岡 光男
準優勝	貝 功・松田 容幸
【女子】優勝	関 昌子・桜井 徳代

常陸大宮市バレーボール連盟 第24回ママさんバレーボール大会

開催日：平成30年11月25日（日）
主催：市バレーボール連盟（相田仁史会長）
会場：西部総合公園体育館

優勝	泉バレーボールクラブ
準優勝	ステップ

第15回常陸大宮市民卓球大会

開催日：平成30年11月23日（金）
主催：市卓球連盟（後藤則明会長）
会場：西部総合公園体育館

団体の部

優勝	球友クラブJr A
準優勝	美和卓球クラブA
第3位	球友クラブJr B 美和卓球クラブB

中学一年男子の部

優勝	箕川 真聖（大宮中学校）
準優勝	佐藤 隼斗（山方中学校）
第3位	富山 舞輝（球友クラブJr） 鈴木 雄斗（山方中学校）

中学一年女子の部

優勝	黒田三結樺（Over Limit）
準優勝	佐々木心結（Over Limit）
第3位	杉原 釉愛（球友クラブJr） 三村 花愛（Over Limit）

中学二年男子の部

優勝	関澤 美昭（球友クラブJr）
準優勝	岩間 蒼生（明峰中学校）
第3位	菊池 聡（明峰中学校） 滑川 健介（大宮第二中学校）

中学二年女子の部

優勝	菊池 結愛（球友クラブJr）
準優勝	西野 麗愛（Over Limit）
第3位	大塚ちひろ（球友クラブJr） 岡山 芽生（大宮中学校）

一般男子の部

優勝	小野瀬慎二（球友クラブJr）
準優勝	志賀 佑紀（大宮中職員）
第3位	井野上賢太（美和卓球クラブ） 小堀 健太（美和卓球クラブ）

一般女子の部

優勝	岡山 千夏（美和卓球クラブ）
準優勝	関澤 里菜（球友クラブJr）

IMGA世界ジュニア選手権で2度も世界一に輝いたゴルフ少女

すとう みろく 須藤 弥勒ちゃんが 市内ゴルフ場で練習中



本市内には10か所のゴルフ場があり、国内外から多くのゴルファーが来訪しプレーを楽しんでいます。豊かな自然とともに、多くのゴルフ場があるこの環境は、本市のひとつの魅力でもあります。

今年のIMGA世界ジュニアゴルフ選手権での3連覇を目指して練習に励む須藤弥勒ちゃん。全国20数か所のゴルフ場を視察し、練習拠点として選んだのが、御前山地域にあるゴルフ5カントリーサニーフィールドでした。



基本データ

氏名：須藤弥勒
年齢：7歳
ゴルフ歴：約6年
家族構成：父母兄弟
出身：群馬県太田市
好きな食べ物：いちご

将来の目標

近い目標は、来年のIMGA世界ジュニアゴルフ選手権に出場して日本人初の3連覇することです。将来は、マスターズに出場して伝説になりたいです。

ひとこと

うまくいかない時は悔し涙が出ますが、ゴルフを辞めようと思ったことは一度もないです。みんなに愛されるドラゴンボールZに出てくるマジンブーのような存在になりたいです。



- 2014年 第35回全国小学校ゴルフ大会に史上最年少で出場し7位
2017年 IMGA世界ジュニアゴルフ選手権と同じコースの大会（6歳以下）で優勝
2017年 IMGA世界ジュニアゴルフ選手権で6歳以下女子の部で史上最年少で優勝
2017年 FCGインターナショナルでトーナメントレコードで2連覇
2018年 IMGA世界ジュニアゴルフ選手権で6歳以下女子の部で優勝、トーナメントレコードで史上初の2連覇達成

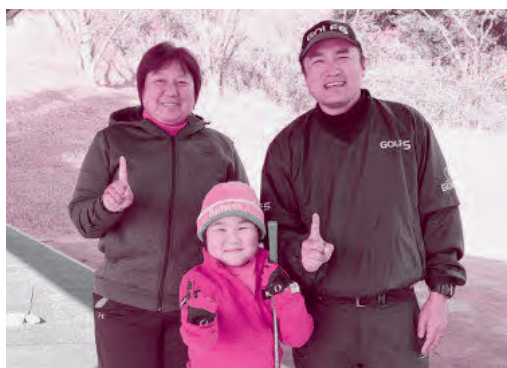
ゴルフを始めたきっかけ

弥勒ちゃん

—お兄ちゃんがゴルフをやっているのを見て自分もやってみたら楽しくて、お父さんお母さんに褒められるのが嬉しかったからです。

憲一さん

—1歳半の時におもちゃのゴルフクラブを握らせてみたら、何も教えていないのに体の軸がずれず、打つときにボールの面を捉えていて空振りを一度もしなかったのです。これを見た瞬間に弥勒のゴルフの才能に気がきました。本人もゴルフが大好きで辞めないと言っているので、サポートすることになりました。



▲(左) 弥勒ちゃんを指導する高村亜紀プロ
(右) 父の憲一さん

ゴルフ5カントリーサニーフィールドを選んだ理由 憲一さん

—このゴルフ場の充実した練習施設、メンテナンスがとても素晴らしく弥勒の練習環境に最適だと感じここに決めました。また、まわりの皆さんが自分たちをよそ者扱いしないで温かく受け入れてくれたことも理由のひとつです。茨城県の皆さんは心温かい人が多いですね。サニーフィールドも含め、常陸大宮市にあるゴルフ場は、東京から近い立地と値段もお手頃で初心者でも気軽にゴルフを楽しめる環境にあると思います。今後、弥勒がゴルファーとして成長していく中で、常陸大宮市が弥勒の原点となり、弥勒を作ったところになるでしょう。



▲市特産品のいちごと市マスコットキャラクターのひたまるが大好き！



みんなのスポーツ・エクササイズ⑨



生活の変化に伴うニュースポーツの普及

皆さんが親しむスポーツは、かつては、男性はソフトボール、女性はバレーボールというイメージでしたが、生活の変化や価値観の多様化により、現在では、多種目のスポーツに親しむ場が作られています。

昨年9月には、山方体育協会で、ヘルスパレーボール交流大会が開催されました。ヘルスパレーボールは、楕円形の大きく柔らかいボールが特徴で、老若男女が一緒に楽しめるニュースポーツです。

11月には、道の駅常陸大宮～かわプラザ～で、みんなのスポーツフェスティバルinかわプラザ（主催：教育委員会）が開催されました。ヨガやピラティスの体

験会やカーリングの普及版であるユニカールの公開試合、体力測定、プロライダーによるスラックラインの模範演技等が行われたほか、キッズ新体操体験教室参加児童による成果発表ステージでは、たくさんの来場者から拍手が贈られました。

本市には、各種スポーツ関連団体がありますが、どの団体もスポーツに親しむ機会を作るため、創意工夫しながら様々なイベントを開催しています。教育委員会でも、より多くの市民の皆さんにスポーツに興味を持っていただけるよう事業を推進してまいります。



▲ヘルスパレーボール
山方地域の部優勝チーム



▲ユニカールの公開試合



▲華麗なスラックライン演技

■問い合わせ■ 文化スポーツ課 文化・スポーツグループ ☎52-1111（内線342）

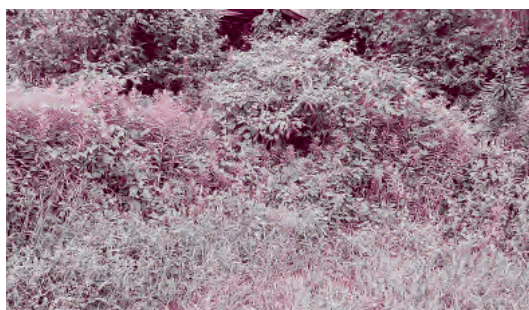
環境インフォメーション

空き地の適正な管理に努めましょう

使用されていない空き地の管理が適正になされず、雑草が繁殖しているとの苦情が多数寄せられています。雑草を刈らずに放置しておくと、害虫の発生や不法投棄・火災・通行妨害の原因にも繋がりますので、土地の所有者、管理者は近隣の生活環境が損なわれないよう適正な管理に努めましょう。

- ・ごみの不法投棄の場所になっていませんか
- ・蚊・ハエなどの発生場所になっていませんか
- ・歩行者や車両の通行の妨げになっていませんか
- ・犯罪が発生しやすい場所になっていませんか
- ・火災の原因になり付近の家に燃え移る危険がありませんか
- ・周囲の景観を著しく損ねていませんか

市空き地除草条例では、空き地などの所有者や管理者の責務を定めています。快適で住みよいまちづくりのため、皆さんのご理解とご協力をお願いします。



▲適正に管理されず伸びきった草

■問い合わせ■

生活環境課 生活環境グループ ☎52-1111（内線123）

山方支所 ☎57-2121 美和支所 ☎58-2111 緒川支所 ☎56-2111 御前山支所 ☎55-2111

大宮地方環境整備組合環境センター ☎029-296-1744

地域おこし協力隊 がゆく



▲故郷の干しいもが完成しました！

地域おこし協力隊の間瀬です。地域おこし協力隊の事業として、市内で「干しいも」の生産を始めました。昨年末から、道の駅常陸大宮「かわプラザ」にご協力をいただき、試験販売を行っています。

私は常陸大宮市に来て初めて干しいもを食べました。本当においしいですね。しかし県外での知名度はそれほど高くありません。多くの人に知ってもらえれば、まだまだ需要がある伸びしろのある商品に感じ、干しいも作りを決意しました。今回協力隊として作っている干しいもには3つの特徴があります。1つは市内の金鉱山の跡地である洞窟をサツマイモの貯蔵庫として使っていること。2つめは市内の森林資源による薪を使って蒸していること。3つめは完全天日干しであること。この様に中山間地である本市の特徴を生かし、昔ならではの作り方で作っています。

買ってくださる皆さんに「自然」を感じて欲しいという想いを込めています。干しいも作りには多くの方々関わっています。30歳から79歳という幅広い年齢の皆さんに協力していただき、会話して楽しみながら、干しいもを作っています。人と人との繋がりにより、少しずつですが経済も回ってきているように思えます。これからもおいしい干しいも作りを目指し頑張っていきます。どうぞ常陸大宮市産の「故郷の干しいも」をよろしくお願いします。

VOL.55

職員のつぶやき ～職員リレートーク～



▲左から坏さん、鈴木さん、関口さん

水道課の関口一稀です。水道工事の監督や漏水対応を主に行っています。

当初は水道に関する専門用語や資材の多さに戸惑いました。漏水の通報があった時は土日、昼夜問わず現場に駆けつけなければなりません。このような日々の中で、水が人々の生活に欠かせないものであることを実感しました。

これからも責任感を持って業務に取り組みたいと思います。

下水道課の鈴木龍之介です。主な業務として、下水道促進週間コンクールに関する事務や、下水道の配管状況の照会などを行っています。配属された頃に比べ、職場の環境や業務にもだんだん慣れてきましたが、まだまだ分からないことも多く勉強の毎日です。また、社会人1年目でもあり、至らない点もあると思いますが、これからも日々の業務に励み、市に貢献できるよう精進いたします。どうぞよろしくお願いします。

水道課の坏由基です。私が所属する施設グループは、市内全域の水道施設の維持管理や、異常対応などを主な業務としています。配属されてから半年以上が経ち、業務にも慣れてきましたが、まだ分からないことも多く、上司に助けていただきながら業務に取り組む日々を送っています。

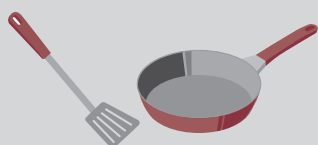
市民の皆さんに安心して水を使用していただけるよう、私にできることは些細なことではありますが、日々の業務に全力で取り組んでまいります。よろしくお願いします。

食改レシピ Vol.9

お子さんのおやつにおすすめのレシピです。

【材料】 4人分

残りごはん	200 g
ピザ用細切りチーズ	40 g
ちりめんじゃこ	10 g
桜エビ	10 g
青のり	少々



ご飯のチーズせんべい



【作り方】

1. ごはんとチーズを混ぜ合わせて2等分する。一つにちりめんじゃこ、もう一つに桜エビを混ぜ、ラップを使って一口大に丸める。
2. 1を丸くせんべい状に伸ばす。
3. テフロン加工のフライパンで表面がカリッと香ばしく焼き色がつくまで両面焼く。
4. ちりめんじゃこ入りに青のりをかける。

一人分 栄養成分	エネルギー	たんぱく質	脂質	塩分
	131kcal	6.2 g	2.9 g	0.5 g

ひたまる先生を紹介します vol.16



▲富山明峰さん

日本きりえ協会公認のきりえ作家の富山明峰です。西ノ内和紙の黒い和紙をカッター一本で切って作品をつくるきりえ教室です。市文化協会できりえ教室を指導しています。夏休みには体験教室を小学生対象に実施しています。

地元の日本和紙(西ノ内和紙)を使用して「オリジナル作品」づくりに挑戦してはいかがでしょうか？小学生から高年齢の方まで楽しくやさしく2人の講師が指導致しますので心よりお待ちしております。

■問い合わせ■ ☎090 - 4670 - 7625



▲野上紀美子さん

私は、40年前インドでヨガに出会いました。昼間働いている方が、健康維持のためにやさしくできる初心者ヨガをしたいと希望され、スタートした山方高齢者センターの教室は、参加される皆さんのおかげでまもなく20年。ほのぼのやさしいヨガクラスです。やさしいヨガはご自身の体調に、静かに耳を傾けます。無理をしない・ゆっくり・楽に・気持ち良いを大切にします。産後お母さんヨガでは、「産後で気持ちが張り詰めていたけど、参加して気持ちが軽くなった」と、笑顔で話してくださいました。

無理をしない・ゆっくり・楽に・気持ち良いを大切にします。産後お母さんヨガでは、「産後で気持ちが張り詰めていたけど、参加して気持ちが軽くなった」と、笑顔で話してくださいました。

■問い合わせ■ ☎57 - 2982

善意をありがとう

＜公立の子育て支援センターへ＞



水戸ヤクルト販売株式会社様
140,000円分の知育玩具・保育遊具等

こちらのQRコードからどうぞ

常陸大宮市



Twitter 常陸大宮市
@hitachiomiya_ HITACHIOMIYA



ピロリ菌ってなあに？

健

康

通

信

常陸大宮済生会病院 外科部長 宇井 崇

<ピロリ菌とは？>

ピロリ菌は胃の中に住み着く菌です。胃の中は食物の消化を助け、食物の腐敗を防ぐため胃液（塩酸）が分泌されています。鉄をも溶かしてしまう強酸性なので通常の菌は生息出来ませんが、ピロリ菌だけは生きていけます。ピロリ菌がだす「ウレアーゼ」という酵素がアンモニアを作り、ピロリ菌の周りだけ中和できるからです。ピロリ菌感染は慢性胃炎や胃潰瘍・十二指腸潰瘍、そして胃がんの原因になります。

<ピロリ菌の感染原因>

ピロリ菌はほとんどが幼少期（2歳まで）に感染すると言われています。幼少期の胃の中は酸性が弱く、ピロリ菌が生き延びやすいからです。ではピロリ菌はどのようにして胃の中に入り込むのでしょうか？口から入るのは間違いないので、唾液を介した口口感染や糞便を介した糞口感染（井戸水など）が考えられます。

劣悪な衛生環境で幼少期を過ごす様々な感染経路が考えられますが、現在の日本では衛生環境が改善したので、乳幼児の家庭内感染が主な感染源と考えられています。食べ物を噛んで与えたり、味見をする際に同じスプーンを使用することで感染機会が増えるので気を付けましょう。

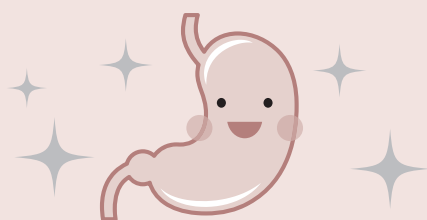
<ピロリ菌の検査>

ピロリ菌の検査方法には、内視鏡を必要とする検査と内視鏡を必要としない検査があります。それぞれ一長一短があります。常陸大宮市の胃がん検診では胃がんのリスク検診としてピロリ菌感染の有無を確認することが出来ます。

<ピロリ菌がいたら、どうしたらいいの？>

検査でピロリ菌感染があり、慢性胃炎や潰瘍・胃がんが認められたときは除菌治療が勧められます。3種類の薬剤を1週間内服することで高率に除菌する事が出来ます。ただし、除菌してもピロリ菌が残存することがあるので、必ず除菌判定検査を受けましょう。また、ピロリ菌除菌後にも胃がんは発見されますので、定期的な内視鏡検査が望ましいと考えられます。

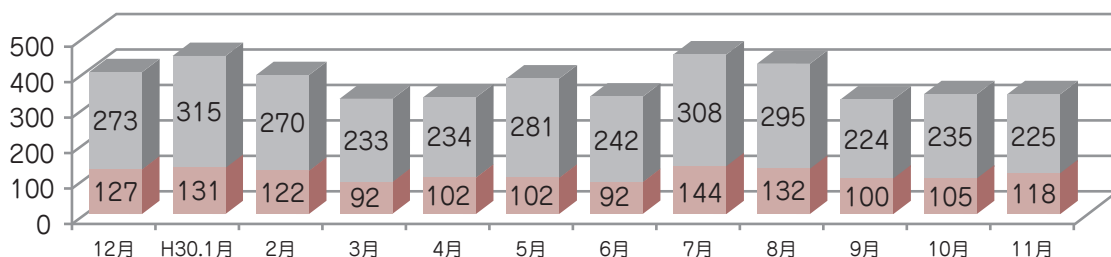
当院ではピロリ菌感染の検査、内視鏡検査が施行でき、ピロリ菌除菌も行っていますのでお気軽にご相談下さい。



※救急受け入れの人数を
月別に表しています。
(休日・時間外を含む)

常陸大宮済生会病院救急患者受入状況

■救急車以外
■救急車



「幻の首相」・山崎猛のルーツ



▲山崎猛肖像（個人蔵）

茨城県出身で最も首相に近づいた人物をご存知でしょうか？

昭和23年（1948）10月、第二次吉田茂（民自党総裁）内閣の誕生を嫌うGHQの一派が、吉田の代わりに後継首相に担ぎ出そうとした、民自党幹事長の山崎猛（水戸市出身）です。しかし、山崎は「総裁を差しおいて幹事長が首相になるなど、憲政の常道に反する」として、首班指名の直前に議員辞職願を提出し、「山崎首相」の誕生は「幻」に終わりました。当時、「山崎のハラキリ」などと報じられた同事件は、一般には「幻の首班指名」と呼ばれています。

その山崎猛のルーツは、実は常陸大宮市の下村田と長倉にあります。戦国時代の末期、佐竹義宣に仕えていた山崎家の祖・政直は、義宣の秋田移封に病気で従えず、下村田に住んだとされています。

また、その子政済は、水戸徳川家の一族である長倉松平家の始祖松平頼泰（初代水戸藩主徳川頼房の八男）に仕え、以後、山崎家は代々長倉松平家の重臣を務めました。特に、猛の祖父山崎幾之進（政徳）は、幕末期に頼位、頼譲、頼功、頼遵の4代にわたって長倉松平家を支え、その勇猛さ、峻厳さから「鬼山崎」と畏怖されたといえます（『山崎幾之進事蹟』『昭和大礼贈位書類第七冊（内ノ七）』国立公文書館所蔵）。

幾之進は、天狗党の乱で非業の死を遂げた宍戸藩主松平頼徳に関して（恐らく助命に）奔走したことから水戸藩の門閥派政権によって捕縛され、慶応2年（1866）9月に水戸の赤沼獄で獄死しました（『否塞録』〈茨城県立歴史館叢書16、2013年、111、114ページ〉）。

山崎猛は、その後、家名再興を許された幾之進の次男政愛の四男として明治19年（1886）に水戸で生まれ、長じて東京、そして朝鮮・満州へと出て行きます。



近現代史部会専門調査員 石井 裕 氏
（茨城県立歴史館主任研究員）

大正9年（1920）の帰国後は立憲政友会系の政治家として名を成し、最後は首班指名の寸前まで権力の座を登りつめました。現在、茨城県立歴史館で整理中の「山崎猛関係資料」（仮）には、いつの頃か、山崎が収集した下村田などの近世史料（山崎家関係）が含まれており、山崎が自身のルーツである常陸大宮市域に何らかの関心を抱いていたことがわかります。

「顔の見える近現代史」の編さんが、私たち近現代史部会のテーマの一つです。常陸大宮市にゆかりのある様々な人びとのライフヒストリーを交差させながら、「顔の見える近現代史」の編さんを実現したいと考えています。

そのためには、市民の皆さんのご協力が必要です。どうぞよろしくお願いいたします。



▲山崎幾之進墓碑（水戸市・高台寺）

■問い合わせ■

文化スポーツ課

文化・スポーツグループ ☎52 - 1111（内線344）

合併の経緯－大場村－

◇明治の合併前後の大場村

本市の南部、那珂川に面した小場^{おば}、小野^{おの}、三美^{みよし}地区は、江戸時代には小場村、福山村、向山村、小野村、三美村の5ヶ村に分かれていました。三美村ははじめ「さびむら」という呼び名でしたが、衰退や荒廃を意味する「寂びれる」という言葉に通じるとい理由で明和元年（1764）に「福島村」に改められ、天保13年（1842）再び三美村（みよしむら）に復したといわれています（『新編常陸国誌』）。また、福山村と向山村は天保13年（1842）に小場村に合併しました。

これらの村々は明治5年（1872）に始まる大区小区制では、3か村ともに第10大区1小区になり、同8年の改正で範囲が拡大されると第4大区8小区に組み入れられました。続く連合町村制のもとでは、小野・小場・下江戸（那珂市）の三か村連合と三美村・野口村の二か村連合に分かれ、更に明治17年の改正では、小野村が東野村ほか五か村連合に、小場村は下江戸村と、三美村は野口村との連合村となり、分散することになりました。

その後、明治22年（1889）に施行された町村制により、小規模の町村を合併して適正規模の基礎自治体を作ることが進められました。これにより小場村、小野村、三美村が合併して大場村が発足しました。

大場村の役場は、小場の中心部から北西に少し離れた小場1190番地に置かれました。以後、昭和30年

の大宮町との合併まで同地に所在し、大宮町発足後は大場支所となりました。

◇大場村発達史

大場村には、昭和13年に作られた『大場村発達史』という村の概要を記した冊子があります（小場小学校旧蔵、文書館で複製公開）。手書きで作成されたこの冊子は残念ながらこの1年分しか残されていませんが、内容は、村の沿革、教育、産業、交通、河川、池沼、水利、耕地、風俗、災害、面積、戸口、財政など広範囲に及びます。これによれば、昭和13年の大場村の現住人口は2812人、現住戸数は570戸で、主産業は煙草や養蚕を中心とし、薪炭・材木等に頼っていたことがわかります。那珂川沿岸には舟運を担う河岸が建ち並び、三美村の不動河岸（関家）、小野村の上河岸（宇留野家）や下河岸（四倉家）、小場村の安藤河岸をはじめとして複数の河岸が営業していました。久慈川を使って奥州方面から上ってきた年貢米や茶、木材などが山方河岸や高和田河岸で陸揚げされ、三美・小野地域的那珂川の河岸に陸送され、再び江戸方面へ運ばれました。

◇大宮町への合併

昭和28年9月に町村合併促進法が施行され、大場村では昭和29年4月初旬に第一回町村合併促進委員会が開催されました。委員会では、分村合併を避けること、対等合併とすることを前提として検討され、大勢としては大宮町への合併を志向するものでしたが、三美地区の一部では野口への合併を志向する動きもあり、最終的には12月30日の議会で可決され大宮町との合併が決定しました。この後、旧町村の代表者により昭和32年から新町の建設計画協議が重ねられ、昭和37年に新町の建設計画の要綱がまとめられました。

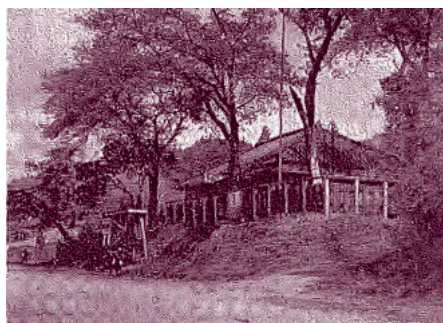
この間の史料については、旧大場村の公文書はわずかしかなかった残されていませんが、当時大宮町の助役を務めた小野の宇留野家の文書（当館蔵）から一部を垣間見ることができます。

【参考文献】

「大場村発達史」（大場村文書1）、塙泉嶺『那珂郡郷土史』宗教新聞社 大正12年、茨城県総務部地方課編『茨城県市町村合併史』昭和33年、『大宮町史』昭和33年、『大宮町史』昭和52年、宮崎報恩会編『新編常陸国誌』昭和56年



▲大場村役場跡の現況



▲大場村役場（『大宮町史』昭和33年より）

■問い合わせ■ 文書館 ☎52 - 0571 月曜休館



第2回こどもメディカルラリーを 開催しました

12月8日、当本部で市内の小・中学生が参加している「救急医学と健康講座」の受講者を対象に、第2回こどもメディカルラリーを開催しました。こどもメディカルラリーとは、怪我している人や倒れている人に対して、子どもたちだけで考えて119番通報や適切な処置などを行うコンテストです。様々な想定の中で通報や応急処置などを行うシナリオステーション、消防車両乗車体験やロープ渡りなどを体験できるサービスステーションからなる計5ブースあり、講座で学んだ内容（119番通報や外傷処置、胸骨圧迫、AEDの使用など）をもとに、10チームに分かれて実施しました。



▲3人で協力しながら処置をします



▲様々な場面を子ども達だけで対応していきます



▲防火服と呼吸器を身につけてダッシュ！



▲サービスステーションでは消火器も取り扱いました



▲優勝したDチーム



▲たくさんのご参加ありがとうございました

餅による窒息事故に注意！

窒息事故を防ぐために注意すること

- ・食べる前に水やお茶を飲む
- ・ひとりで食べない
- ・一口を小さく、ゆっくりよく噛む
- ・酒を多量に飲みながら餅を食べない

異物が喉に詰まった時の対処法

まわりの人が、異物を詰まらせたことに素早く気付くことです。喉に異物が詰まると急に咳き込んだり、突然言葉を発せなくなったり、のどを両手でかきむしるようなしぐさ「窒息のサイン(チョークサイン)」をします。このサインを見たら喉に異物が詰まっていないか必ず確認しましょう。

積極的に咳を促す

呼吸時に「ヒューヒュー」など異音がする場合は、異物が部分的に詰まっている場合があります。異物が取れるまで咳をするように促しましょう。

背部叩打法と腹部突き上げ法（ハイムリック法）

完全に喉が詰まり窒息している場合の対処法として、背部叩打法と腹部突き上げ法（ハイムリック法）の2つがあります。

1. 背部叩打法

背部叩打法は、左右の肩甲骨の中間を手の付け根で上部へ突き上げるように叩きます。5回程度連続して叩いた後に確認し、異物が除去できるか反応がなくなるまで、その動作を繰り返してください。

2. 腹部突き上げ法（ハイムリック法）

喉を詰まらせている人の背部に立ち、おへそのやや上（みぞおちの下方）に親指を腹部側にあてて握りこぶしをつくり、もう片方の手を添えて、すばやく上方へ突き上げるように圧迫します。臓器を損傷している可能性がありますので、実施後は必ず病院を受診しましょう。※妊婦・1歳未満児には行えません。

反応がなくなった場合は

発見した時から反応がない、もしくは異物除去中に反応がなくなってしまった場合は、ただちに通常の心肺蘇生を開始します。

- ・助けを呼ぶことや119番通報が済んでいない場合は、すぐに助けを呼び、119番通報とAEDを手配します。
- ・心肺蘇生を開始します。
- ・心肺蘇生を行っている途中で、口の中に異物が見えた場合は、異物を取り除きます。
- ・口の中に異物が見えない場合は、異物を探すのに時間をかけず、心肺蘇生を繰り返します。

新常陸大宮東救急1号車運用開始

新常陸大宮東救急1号車が12月4日から運用開始しました。救急救命士による高度な処置ができる資機材を積載した高規格救急車として、市民の皆さんの生命・身体を守ります。



▲新常陸大宮東救急1号車



▲三次市長より鍵が手渡されました

お詫びと訂正

広報常陸大宮12月号FDHに掲載した、わが町の消防団ポスターコンクール表彰者の学年に間違いがありました。お詫びして訂正します。

正しくは【優秀賞】和田翔平さん（大宮小4年）、坪瑛太さん（山方南小4年）でした。

■問い合わせ■ 消防本部 ☎54 - 0119

進めよう！多文化共生社会



氏 名 鈴木 英蘭
住 所 野中町
出 身 国 韓国
家族構成 長男、二男
市内在住歴 20年
仕 事 飲食店経営
趣味・特技 編み物
好きな食べ物 けんちん

飲食店を経営して10年になります。その間、子育て、家事、夫を見送ったことなどたくさんのことがありましたが、その都度まわりの皆さんに助けられて、乗り越えてこられました。都会ではない地方だからこそ、皆さんとの絆が強いのだと感じています。支えてくださる皆さんには本当に感謝しています。

近い将来、子育てが終わったら、漢字の勉強をしたいです。漢字を自由に書くことで常陸大宮の自然の美しさなど、自分が感じた気持ちを表現してみたいです。

また、私が大変な時に支えてくれ、お世話になった皆さんに頑張っで勉強することで、感謝の気持ちを伝え、お返しをしたいと思っています。

鍋というと日本では冬の食べ物ですが、韓国では夏の暑い時にこそ鍋を食べ、たくさんの汗をかいて健康を維持します。私は、知人が作るけんちんが大好きで、夏の間に疲れを感じると、けんちんを作ってもらい食べています。けんちんが私の夏バテ対策になっています。

市内にあればいいと思うものは、小さくてもいいので子どもたちが自由に遊べる公園です。そうすれば、子育て世代が移住してくるのではないかと思います。

第46回花と緑の環境美化コンクール

第46回花と緑の環境美化コンクール（主催：チャレンジいばらき県民運動）に、市内の27団体から応募がありました。以下の3団体が受賞し、12月6日に表彰式が行われました。

＜茨城県造園建設業協会長賞＞

常陸大宮市立山方南小学校

＜チャレンジいばらき県民運動理事長賞＞

門井高齢者クラブ（御前山）

川西区（緒川）



▲茨城県造園建設業協会長賞受賞花壇（山方南小）

御前山ピオトープ周辺の植物等

常緑性のシダ植物です。北海道から九州まで分布しますが、寒い地方に多い植物です。林の中のやや湿った所にしばしば群生します。特にスギ林下に多く見られます。葉は大きく1mほどにもなります。3～4回、鳥の羽のように分れることを繰り返します。葉の表と裏がよく似ているのでこの名前があります。



（オシダ科カナワラビ属）

（写真・データ提供 御前山ダム環境センター）

いきいき茨城ゆめ国体なぎなた競技会

2019年9月29日（日）～

10月1日（火）

西部総合公園体育館



常陸大宮市の人口

（12月1日現在・推定常住人口）

総人口 40,566人 世帯数 16,068世帯
（男 19,998人 女 20,568人）

広報 常陸大宮 1月 第172号

発行日 平成31年1月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>



再生紙と植物油インクを使用しています。